

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	国語Ⅱ (都市・環境系)
科目基礎情報					
科目番号	0037		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	創造工学科 (一般科目)		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	3	
教科書/教材	『高等学校現代文B』三省堂 (補助教材として1年時に購入した『国語総合』も使用する)				
担当教員	山際 明利				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な問題について自分の考えをもち、筋道を立てて意見を述べるができる。</li> <li>相手や目的に応じて題材を選び、効果的な表現を考えて書くことができる。</li> <li>文章の内容を叙述に即して読み取ったり、必要に応じて要約したりできる。</li> <li>様々な文章を読むことで、ものの方、感じ方、考え方を広げ深めることができる。</li> <li>初歩の漢文訓読技法を理解し、正しい書き下しができる。</li> </ul>					
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
表現		自分の考えを筋道立てて述べ、効果的に表現できる。	自分の考えを述べ、ある程度効果的に表現できる。	自分の考えを効果的に表現できない、また意見を持ってない。	
読解		文章の内容を叙述に即して読み取り、必要に応じて的確に要約できる。	文章の内容を間違いのない程度に読み取り、ある程度的確に要約できる。	文章の内容を読み取ることができず、要約できない。	
漢文		訓点に従って漢文を的確に書き下すことができる。	訓点の指示を理解できる。	訓点の指示を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	多様な文章に触れることを通して、国語を適切に表現し的確に理解する能力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、言語感覚を豊かにし、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。 教材として後期前半までは現代文を扱い、それ以降は漢文を扱う。				
授業の進め方・方法	教室での一斉座学。 定期試験45%、小テスト30%、提出課題20%、授業中の発言記録5%、以上を総合して評価する。合格点は60点である。 なお特段の事情ある場合を除いて再試験は実施しない				
注意点	授業で扱う教材については、必ず授業前に目を通しておき、授業後は教授された内容を確認しながら、再度教材にあたっておくこと。 国語辞典を用意のこと。電子辞書を排除しないが、授業中に携帯電話を辞書として使用することは禁止する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1. ガイダンス	授業の目的・方針等を理解する。	
		2週	2. 評論 2-1「文系と理系の壁はあるか」	論理的文章の初歩的な読解法を確認する。	
		3週	2-1「文系と理系の壁はあるか」	論理的文章の基本的な用語・概念を理解する。	
		4週	2-2「市民」のイメージ」	論理的文章の初歩的な読解法を確認する。	
		5週	2-2「市民」のイメージ」	論理的文章の基本的な用語・概念を理解する。	
		6週	2-3「ミロのヴィーナス」	論理的文章の初歩的な読解法を確認する。	
		7週	2-3「ミロのヴィーナス」 (小テスト)	論理的文章の基本的な用語・概念を理解する。	
		8週	3. 小説 3-1「山月記」	小説中の語意を的確に把握する。	
	2ndQ	9週	3-1「山月記」	小説中の語意を的確に把握する。	
		10週	3-1「山月記」	小説中の語意を的確に把握する。	
		11週	3-1「山月記」	小説中の語意を的確に把握する。	
		12週	3-1「山月記」	小説中の語意を的確に把握する。	
		13週	3-1「山月記」	小説中の語意を的確に把握する。	
		14週	3-1「山月記」	小説中の語意を的確に把握する。	
		15週	3-1「山月記」	文章表現の基本的事項を確認し、その知識を用いて的確に論述できる。	
		16週	前期定期試験		
後期	3rdQ	1週	4. 詩 4-1 近代詩について	近代詩の系譜に関する知識を記憶する。	
		2週	4-2 近代詩	近代詩の形式、表現方法、鑑賞方法を理解する。	
		3週	4-2 近代詩	近代詩の形式、表現方法、鑑賞方法を理解する。	
		4週	5. 評論 5-1「ホンモノのおカネの作り方」	やや難度の高い評論について、その構成や展開、筆者の論旨や主張を正しく理解する。	
		5週	5-1「ホンモノのおカネの作り方」	やや難度の高い評論について、その構成や展開、筆者の論旨や主張を正しく理解する。	
		6週	5-2「人類による環境への影響」	やや難度の高い評論について、その構成や展開、筆者の論旨や主張を正しく理解する。	
		7週	5-2「人類による環境への影響」 (小テスト)	やや難度の高い評論について、その構成や展開、筆者の論旨や主張を正しく理解する。	
		8週	6. 漢文入門 6-1 ガイダンス 6-2 故事成語	「漢文」の概念について記憶し、説明できる。 訓点の指示に従って正しく書き下しできる。	

4thQ	9週	6-2 故事成語	返読文字、再読文字、助字について理解する。
	10週	7. 詩文 7-1 唐詩	近体詩の規則を記憶し、説明できる。
	11週	7-1 唐詩	近体詩の規則を記憶し、説明できる。
	12週	7-1 唐詩	訓点の指示に従って近体詩を正しく訓読できる。
	13週	7-1 唐詩	訓点の指示に従って近体詩を正しく訓読できる。
	14週	8. 思想 8-1 論語	孔子の生涯と論語の構成とに関する知識を記憶する。
	15週	8-1 論語	論語各章を正しく訓読できる。
	16週	後期定期試験	

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	2	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	2	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	2	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	
		新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2			

### 評価割合

	定期試験	小テスト	提出課題	発言	合計
総合評価割合	45	30	20	5	100
基礎的能力	40	25	15	5	85
専門的能力	5	5	5	0	15
分野横断的能力	0	0	0	0	0